

主要事業の進捗状況等について

- 1 地震防災対策及び老朽化施設更新（県営水道・工業用水道）の進捗状況について
- 2 明治用水頭首工で発生した漏水事故について
- 3 用地造成事業（内陸地区）の進捗状況について

1 地震防災対策及び老朽化施設更新（県営水道・工業用水道）の進捗状況について

(1) 主な計画の実施状況について（県営水道）

主 な 計 画 内 容		総数量	計画	これまでの実施状況 (2021年度までに完了)	今後の見込み (2030年度まで)	2022年度 実施予定
地 震 防 災 対 策 実 施 計 画 （事業期間 2003～2030年度までの28年間）						
既存施設の耐震化	浄水場構造物	11浄水場	11浄水場	5浄水場	6浄水場	犬山浄水場始め5浄水場
	水管橋	200橋	140橋	136橋	4橋	日光川第1水管橋
初動体制の強化	水道災害活動拠点・共用備蓄倉庫	6箇所	6箇所	5箇所	1箇所	水道災害活動拠点 (完了予定)
バックアップ施設	連絡管・基幹管路の複線化	15路線	10路線	8路線	2路線	上野知多連絡線 第2津島幹線
応急給水施設の整備	広域調整池	26池	18池	13池	5池	—
	応急給水支援設備	352箇所	352箇所	352箇所	完了	—
電力の確保	自家発電設備	11浄水場	3浄水場	3浄水場	完了	—
総事業費			約950億円	約672億円	約278億円	約30億円
老 朽 化 施 設 更 新 計 画 （事業期間 2018～2030年度までの13年間）						
設備更新	浄水場の水処理機械・電気計装・ポンプ設備などの更新	11浄水場 7場外ポンプ場 104供給点 外	79設備 (約527億円)	19設備	60設備	尾張西部浄水場電気設備 始め17設備 (うち5設備完了予定)
管路更新	既設管路の布設替え	約800km	70km (約417億円)	6.8km	63.2km	美浜線送水管始め5.3km (うち1.0km完了予定)
総事業費			約944億円	約165億円	約779億円	約49億円

(2) 2022年度の主な整備内容について（県営水道）

ア 浄水場構造物の耐震補強

- ・ 県営水道11浄水場のうち、5浄水場（豊田・豊川・上野・尾張西部・豊橋南部）の耐震補強が2021年度までに完了しており、残る6浄水場については、2030年度までに完了する予定

【2022年度の主な整備内容】

- 5浄水場（犬山・尾張東部（日進市）・幸田・高蔵寺・知多）で耐震補強工事を実施



浄水場（沈澱池）耐震補強状況

イ 水道災害活動拠点の整備

- ・ 水道災害活動拠点（尾張旭市）は、大規模災害時に応援者を受け入れる施設であり、2018年度から一部（応援者の待機・宿泊場所）を供用開始（2023年度全面供用開始予定）

【2022年度の主な整備内容】

- 水道復旧用資機材保管倉庫の建築工事及びフェンス等場内整備工事を実施



水道災害活動拠点

ウ 連絡管の整備・基幹管路の複線化

- ・ 連絡管は、被災時に浄水場等系統間で水道水を融通する水道管であり、2021年度までに3路線が完了
- ・ 基幹管路の複線化は、被災時のバックアップを目的として実施しており、2021年度までに5路線が完了

【2022年度の主な整備内容】

- 連絡管の整備：上野知多連絡線（知多市）の布設工事を実施
- 基幹管路の複線化：第2津島幹線（愛西市）の布設工事を実施



水道管路の布設状況

エ 老朽化施設の更新（設備更新、管路更新）

- ・ 浄水場等の機械・電気・計装設備の更新は2021年度までに19設備が完了
- ・ 水道管路である送水管の更新は2021年度までに6.8kmが完了

【2022年度の主な整備内容】

- 設備更新：尾張西部浄水場始め8浄水場の電気設備など17設備の更新工事を実施
- 管路更新：美浜線送水管始め5.3kmの更新工事を実施



電気設備

(3) 主な計画の実施状況について（県営工業用水道）

主 な 計 画 内 容		総数量	計画	これまでの実施状況 (2021年度までに完了)	今後の見込み (2030年度まで)	2022年度 実施予定
地 震 防 災 対 策 実 施 計 画 （事業期間 2003～2030年度までの28年間）						
既存施設の 耐震化	浄水場構造物	7浄水場	2浄水場	2浄水場	完了	—
	水管橋	240橋	120橋	114橋	6橋	第3大江水管橋始め3橋
	サージタンク	10施設	7施設	—	7施設	幸田幹線サージタンク 始め7施設
	貯水池（佐布里池）	1池	1池	1池	完了	—
	場外ポンプ場	5施設	1施設	1施設	完了	—
電力の確保	自家発電設備	7浄水場	1浄水場	1浄水場	完了	—
		5ポンプ場	2ポンプ場	—	2ポンプ場	吉良友国ポンプ場
総事業費			約100億円	約53億円	約47億円	約2億円
老 朽 化 施 設 更 新 計 画 等 （事業期間 2018～2030年度までの13年間）						
設備更新	浄水場の水処理機械・電気計装・ ポンプ設備などの更新	7浄水場 5場外ポンプ場 外	46設備 (約188億円)	14設備	32設備	上野浄水場沈澱池電気設備 始め14設備 (うち8設備完了予定)
管路更新	既設管路の布設替え	約810km	51.7km (約257億円)	20.4km	31.3km	西三河第2北部幹線配水管 始め6.1km (うち2.8km完了予定)
総事業費			約445億円	約157億円	約288億円	約47億円

(4) 2022年度の主な整備内容について（県営工業用水道）

ア 水管橋及びサージタンクの耐震補強

- ・水管橋は、管路が河川や水路などを横断するときに設置する施設であり、耐震補強が必要な水管橋が120橋となっており、2021年度までに114橋の耐震化が完了
- ・サージタンクは、管路内の急激な圧力変動を緩和し、管路を保護する施設であり、耐震性が低いと想定される施設が7施設となっている。

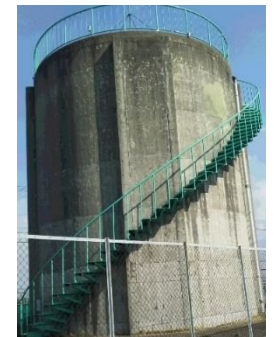
【2022年度の実施内容】

- 第3大江水管橋始め3橋（名古屋市（2橋）、碧南市）の耐震補強工事の調査設計を実施
- 幸田幹線サージタンク始め7施設（半田市、碧南市、豊田市（3施設）、安城市、西尾市）の耐震補強工事の調査設計を実施



水管橋下部工

水管橋



サージタンク

イ ポンプ場への自家発電設備の整備

- ・ポンプ場は、管路末端の標高が高い受水事業所へ給水するための施設であり、2ポンプ場で自家発電設備の整備が必要となっている。

【2022年度の実施内容】

- 吉良友国ポンプ場（西尾市）の自家発電設備工事の調査設計を実施



自家発電設備

ウ 老朽化施設の更新（設備更新、管路更新）

- ・浄水場等の機械・電気・計装設備の更新は2021年度までに14設備が完了
- ・管路の更新は、2021年度までに20.4kmが完了

【2022年度の主な整備内容】

- 設備更新：上野浄水場始め7浄水場等の電気設備など14設備の更新工事を実施
- 管路更新：西三河第2北部幹線配水管始め6.1kmの更新工事を実施



管路布設状況

2 明治用水頭首工で発生した漏水事故について

(1) 概要

2022年5月17日(火)未明、矢作川水系矢作川の明治用水頭首工において大規模漏水が発生した。この漏水により、明治用水頭首工の水位が大幅に低下し、右岸の農業用水、工業用水と左岸の農業用水、水道用水で取水口から必要な水量を取水できない状況となった。

現在、国は、原因の分析と本復旧に係る対策工法の検討を目的に明治用水頭首工復旧対策検討委員会を設置し検討を行っている。

(2) 水道・工業用水道の対応状況

[水道]

- 5月17日(火) 左岸取水口(幸田浄水場[※])の取水停止
※給水対象:3市1町(岡崎市(一部)、碧南市(一部)、西尾市(一部)、幸田町)、対象人口約26万人
- 同日 豊田浄水場、尾張東部浄水場からの応援給水及び矢作川水系巴川からの振替取水により給水を継続
- 6月17日(金) 仮設ポンプ設置による取水量の確保、2浄水場からの応援給水及び振替取水により給水を継続

[工水]

- 5月17日(火) 右岸取水口(安城浄水場[※])の取水停止
※131事業所、契約水量約28万 m^3 /日
- 5月18日(水) 安城浄水場(工水)の取水停止
- 5月19日(木) 仮設ポンプ設置により通常の30%程度で受水再開
- 6月1日(水) 仮設ポンプ増設により通常の50%程度に受水緩和(農水ブロック割通水に必要な水量を差し引いても一定量の確保ができる見通し)
- 6月27日(月) 仮設ポンプと自然取水により通常の75%程度に受水緩和(仮設ポンプと仮設構造物設置による自然取水の併用での水量増、農水は4ブロックから2ブロック割通水へ緩和)
- 8月3日(水) 仮設ポンプ増設等と自然取水により通常の85%程度に受水緩和(仮設ポンプ増設等による水量増、農水は全面通水(ただし、取水量が減少した場合はブロック割通水))

(3) 応急対策の状況

[右岸取水対策]

<7月まで>

- 仮設ポンプ 162台(能力11.62 m^3/s)
- 仮設構造物の設置により水位上昇を図り、仮設ポンプとの併用で13~14 m^3/s 程度の流量を確保

<8月から>

- 仮設ポンプ 203台(能力16.32 m^3/s)
- 仮設構造物による更なる水位上昇と仮設ポンプの増設等により16 m^3/s 程度の流量を確保

[左岸取水対策]

- 巴川自流からの緊急避難的な振替取水
- 仮設ポンプ 19台(能力1.14 m^3/s)

[右岸・左岸共通取水対策(8月下旬頃完成目途)]

- 左岸の漏水箇所を矢板等で囲い頭首工上流側の水位を上昇させた自然取水を行い、右岸左岸両岸の取水口で平年並みの取水量確保を目指す。



(4) 漏水発生時の分析状況(出所:第3回明治用水頭首工復旧対策検討委員会メモ)

- 左岸側の堰軸の空洞貫通位置と概ねの範囲、下流エプロン下の空洞範囲と大きさが確認できた。

3 用地造成事業（内陸地区）の進捗状況について

(1) 開発地区

地区名 (事業期間)	開発面積
西尾次世代産業地区 (2018～2023年度)	51.4ha
<small>かわいのより</small> 岩倉川井野寄地区 (2019～2022年度)	9.3ha
<small>だいこうじ</small> 知多大興寺（2期）地区 (2019～2023年度)	14.2ha
<small>かきのき</small> 豊明柿ノ木地区 (2020～2024年度)	16.5ha
<small>すみ</small> 幸田須美地区 (2021～2025年度)	12.1ha

(2) 開発検討地区

地区名	開発予定面積
あま市北部	約9ha
日進東部	約19ha
刈谷市南部	約26ha
豊川市西部	約10ha
愛西市南部	約13ha
半田市北部	約16ha
安城市北部	約15ha

西尾次世代産業地区

1 所在地（＜位置図＞参照）

西尾市^{きら}吉良町及び善明町^{ぜんみょう}地内

国道23号バイパス^{にしおひがし}西尾東ICから県道蒲郡碧南線^{がまごおりへきなん}等を経由し約4km

2 土地利用計画

単位：ha

区分	工業用地	緑地・法面 道路・調整池等	計
開発面積	24.6 (47.9%)	26.8 (52.1%)	51.4 (100.0%)

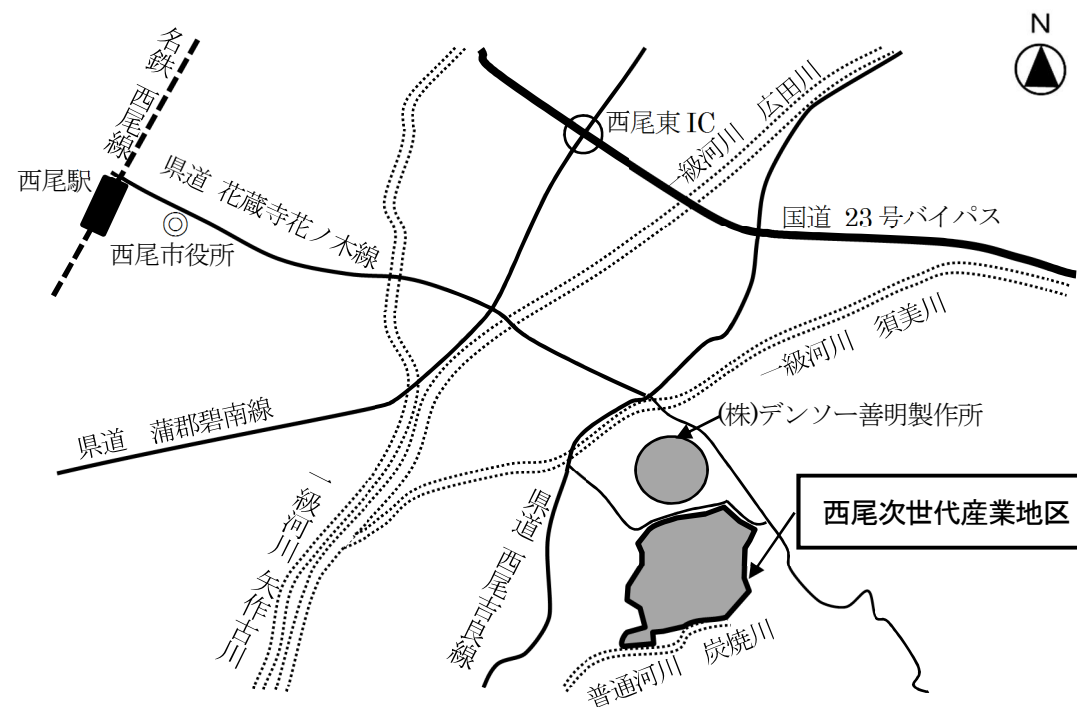
3 事業期間

2018年度～2023年度

4 経過及び今後の予定

- 2019年 3月 (株)デンソー・西尾市との開発基本協定書締結、開発公表
- 2019年 5月 事業用地取得にかかる土地売買契約締結
- 2019年11月 造成工事着手
- 2023年 9月 部分引渡し（予定）
- 2023年度末 造成工事完了、引渡し（予定）

＜位置図＞



開発地区

かわいのより
岩倉川井野寄地区

1 所在地 (<位置図>参照)

かわいのよりの
岩倉市川井町及び野寄町地内

いちのみや
名神高速道路一宮 I C から国道 22 号等を経由し約 2 km

2 土地利用計画

単位：h a

区分	工業用地	緑地・道路・ 水路・調整池	計
開発面積	7.0 (75.3%)	2.3 (24.7%)	9.3 (100.0%)

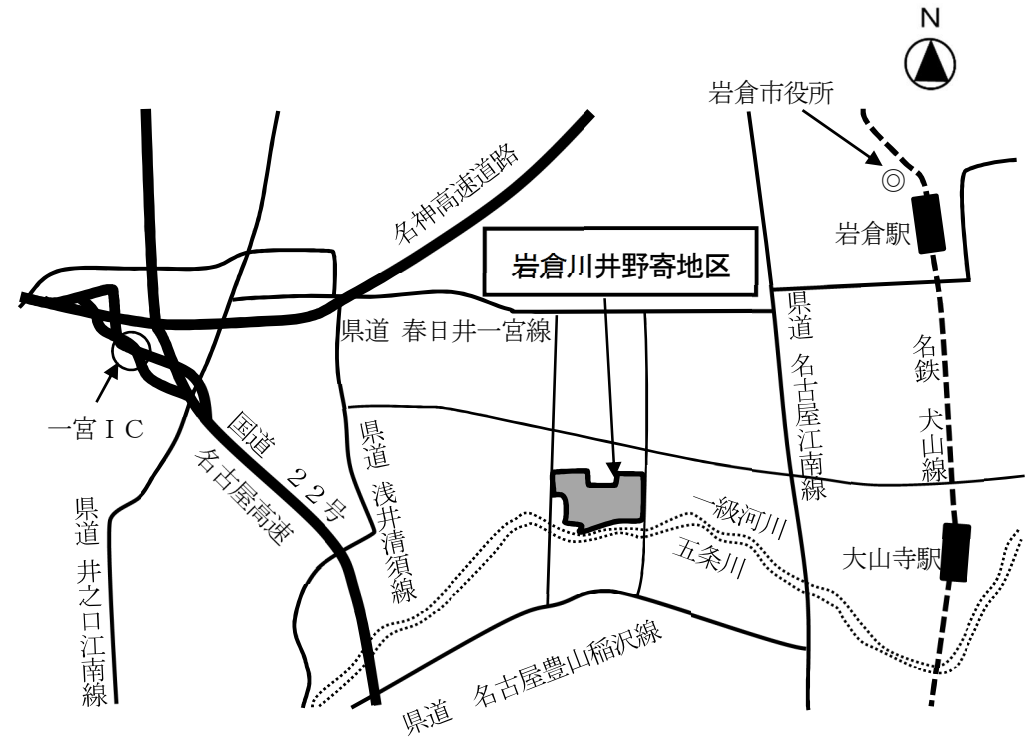
3 事業期間

2019年度～2022年度

4 経過及び今後の予定

- 2019年 4月 岩倉市との開発基本協定書締結、開発公表
- 2019年 7月 事業用地取得にかかる土地売買契約締結
- 2020年 5月 造成工事着手
- 2022年度末 造成工事完了 (予定)

<位置図>



知多大興寺（2期）地区

1 所在地（＜位置図＞参照）

知多市新刀池地内
 知多半島道路阿久比 I C から県道西尾知多線等を経由し
 約 4 k m

2 土地利用計画

単位：h a

区分	工業用地	緑地・道路・ 水路・調整池	計
開発面積	11.9 (83.8%)	2.3 (16.2%)	14.2 (100.0%)

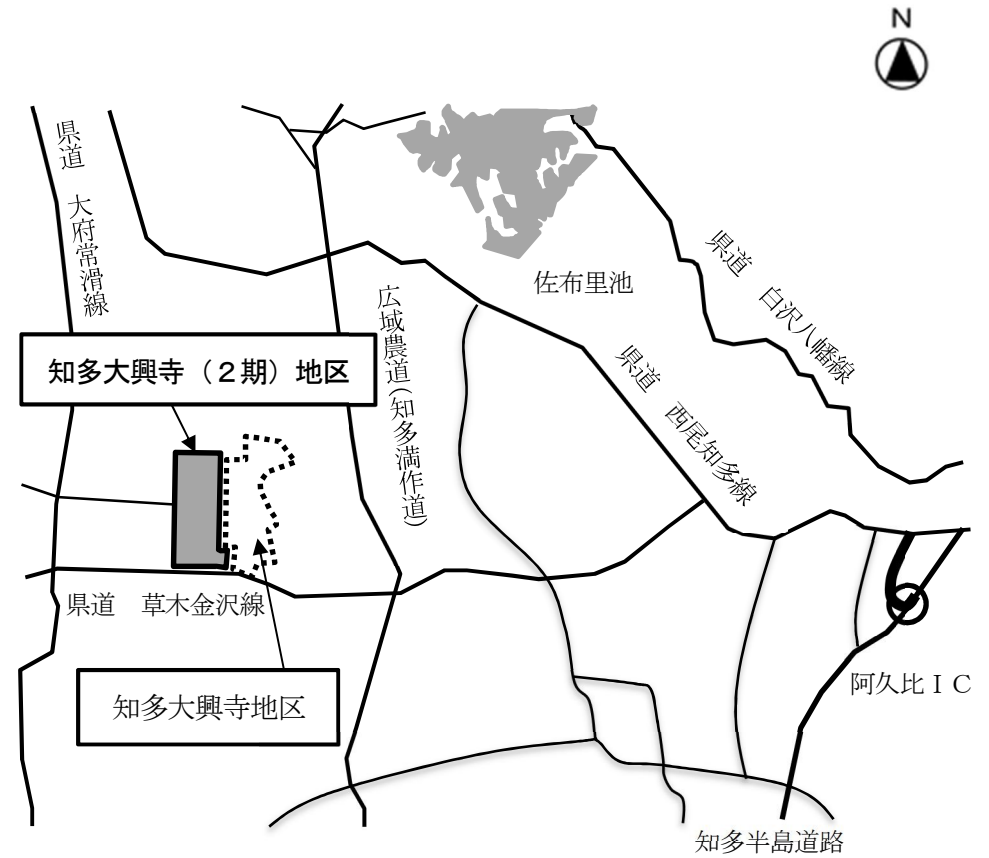
3 事業期間

2019年度～2023年度

4 経過及び今後の予定

- 2020年 2月 知多市との開発基本協定書締結、開発公表
- 2020年 5月 事業用地取得にかかる土地売買契約締結
- 2021年 4月 造成工事着手
- 2023年度末 造成工事完了（予定）

＜位置図＞



開 発 地 区

かきのき
豊明柿ノ木地区

1 所在地 (<位置図>参照)

豊明市沓掛町地内

伊勢湾岸自動車道豊明 I C から県道瀬戸大府東海線等を経由し約 4 k m

2 土地利用計画

単位：h a

区分	工業用地	緑地・道路・水路・調整池	計
開発面積	12.1 (73.3%)	4.4 (26.7%)	16.5 (100.0%)

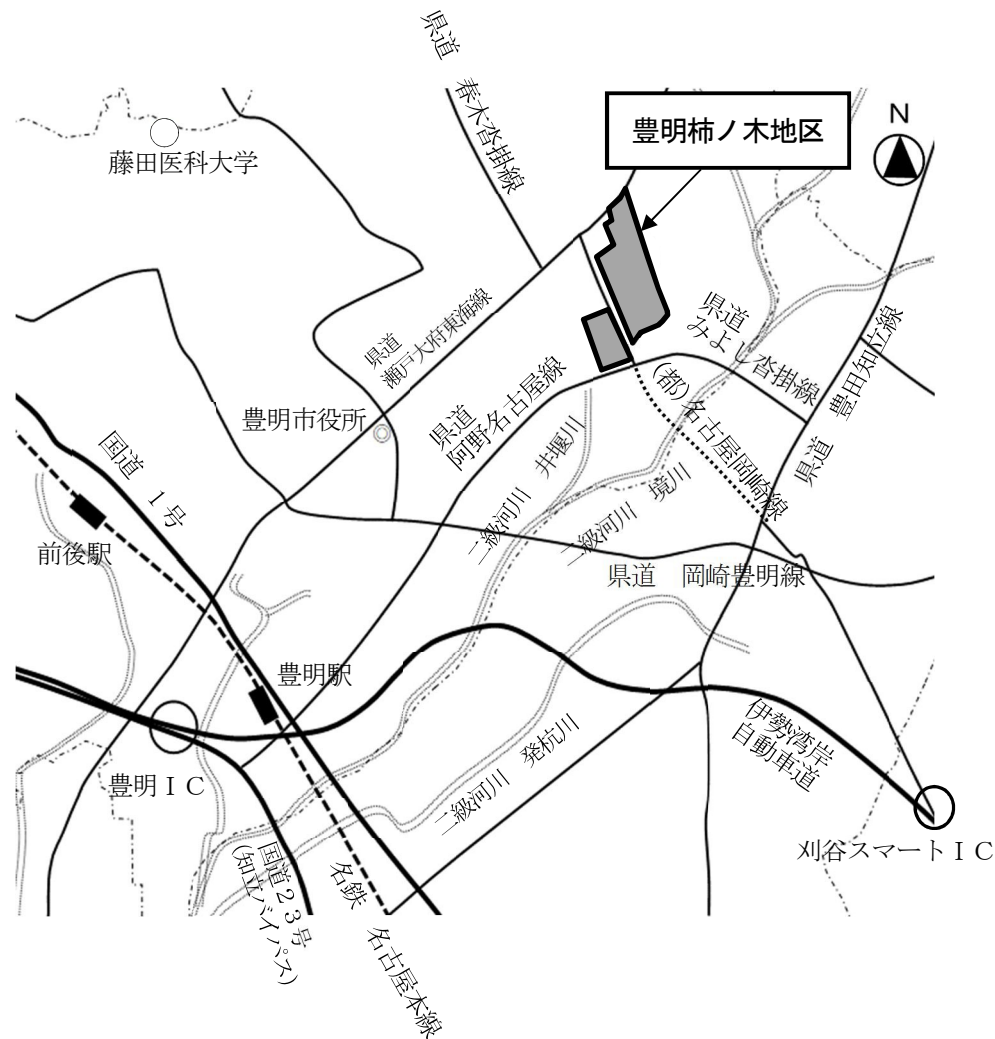
3 事業期間

2020年度～2024年度

4 経過及び今後の予定

- 2020年10月 豊明市との開発基本協定書締結、開発公表
- 2021年 1月 事業用地取得にかかる土地売買契約締結
- 2022年 2月 造成工事着手
- 2024年度末 造成工事完了 (予定)

<位置図>



幸田須美地区

1 所在地 (<位置図>参照)

額田郡幸田町大字須美地内

国道23号岡崎バイパス幸田須美ICから国道23号等を
 経由し約850m

2 土地利用計画

単位：h a

区分	工業用地	緑地・道路・ 水路・調整池	計
開発面積	8.7 (71.9%)	3.4 (28.1%)	12.1 (100.0%)

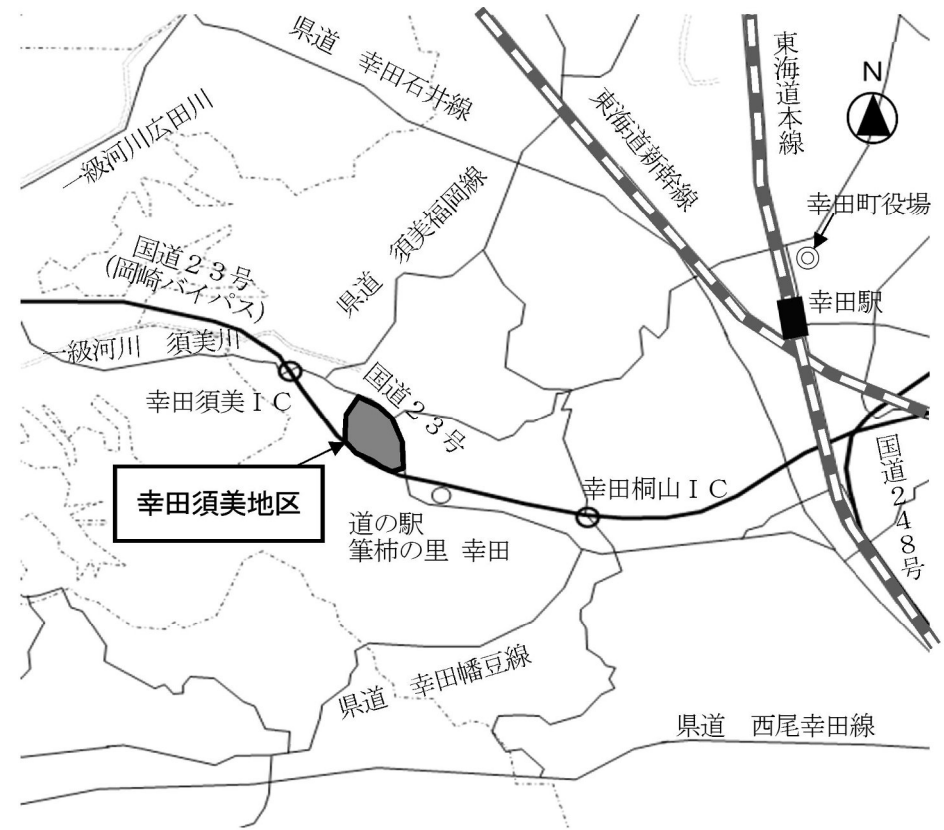
3 事業期間

2021年度～2025年度

4 経過及び今後の予定

- 2021年12月 幸田町との開発基本協定書締結、開発公表
- 2022年 1月 事業用地取得にかかる土地売買契約締結
- 2022年12月 造成工事着手 (予定)
- 2025年度末 造成工事完了 (予定)

<位置図>



あま市北部

1 所在地 (<位置図>参照)

名古屋第二環状自動車道^{きよすにし}清州西 I C から県道給父清須線等を経由し約 600 m

2 開発予定面積

約 9 h a

<位置図>



日進東部

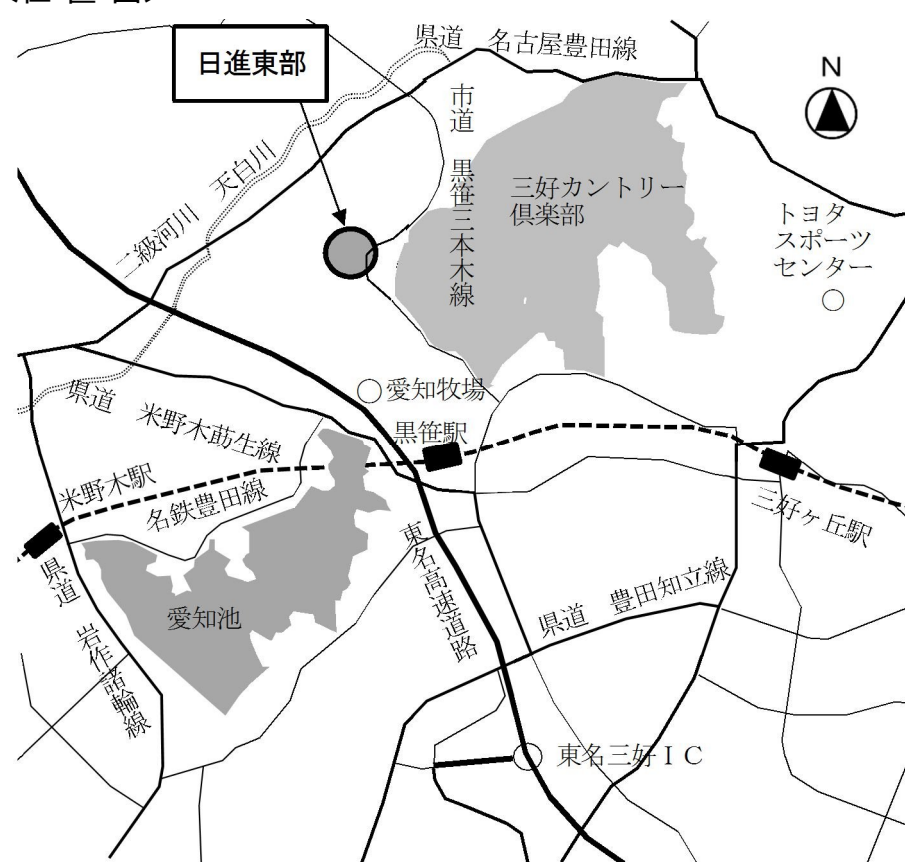
1 所在地 (<位置図>参照)

東名高速道路^{とうめいみよし}東名三好 I C から県道豊田知立線等を経由し約 3 k m

2 開発予定面積

約 19 h a

<位置図>



刈谷市南部

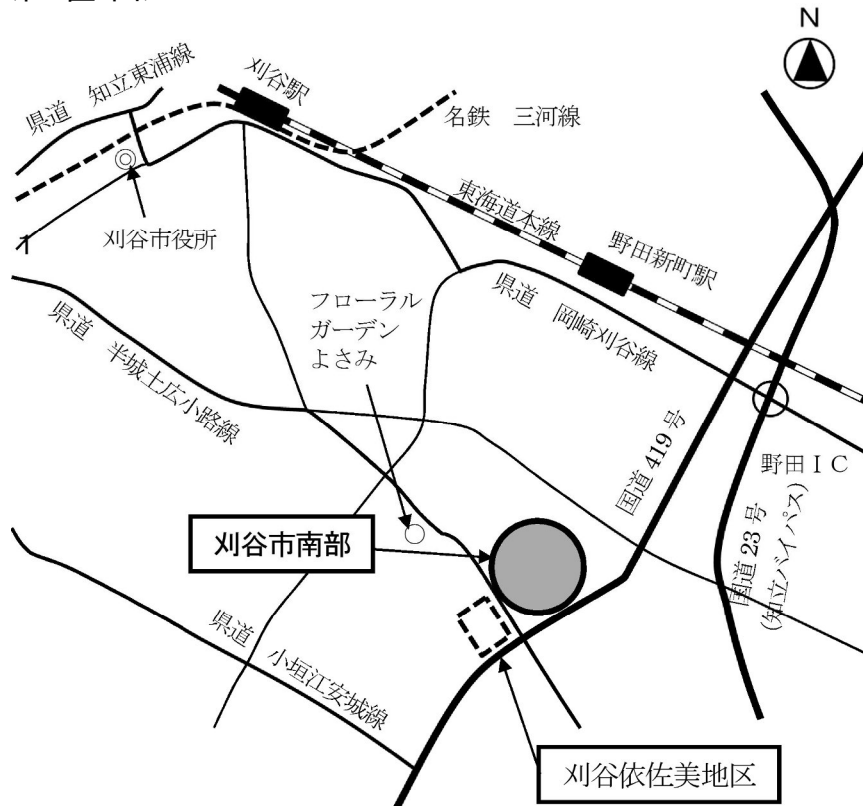
1 所在地（＜位置図＞参照）

国道23号知立バイパス野田ICから国道419号等を経由し約2km

2 開発予定面積

約26ha

<位置図>



豊川市西部

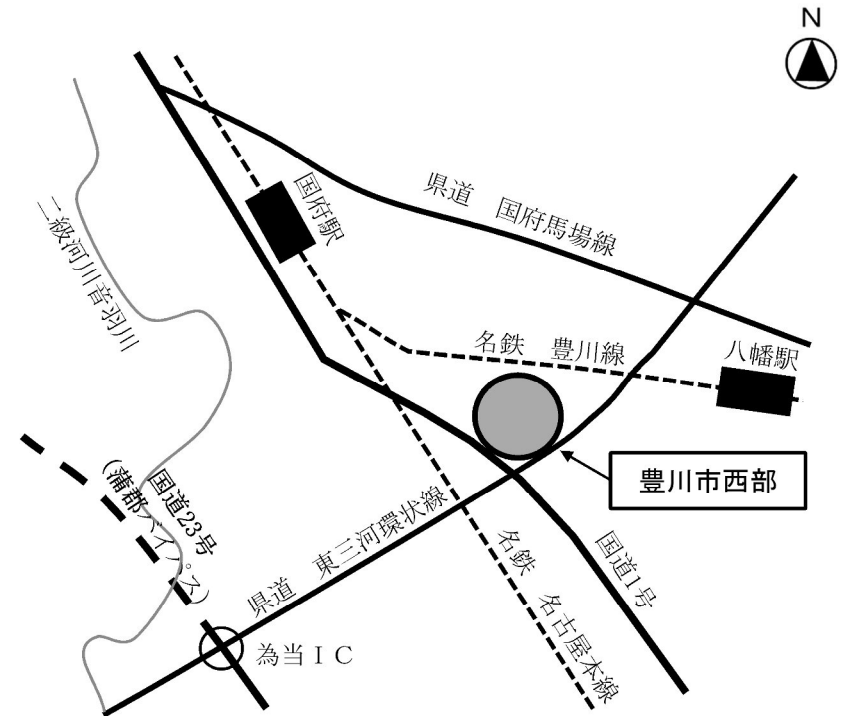
1 所在地（＜位置図＞参照）

国道23号蒲郡バイパス為当ICから県道東三河環状線等を経由し約2km

2 開発予定面積

約10ha

<位置図>



愛西市南部

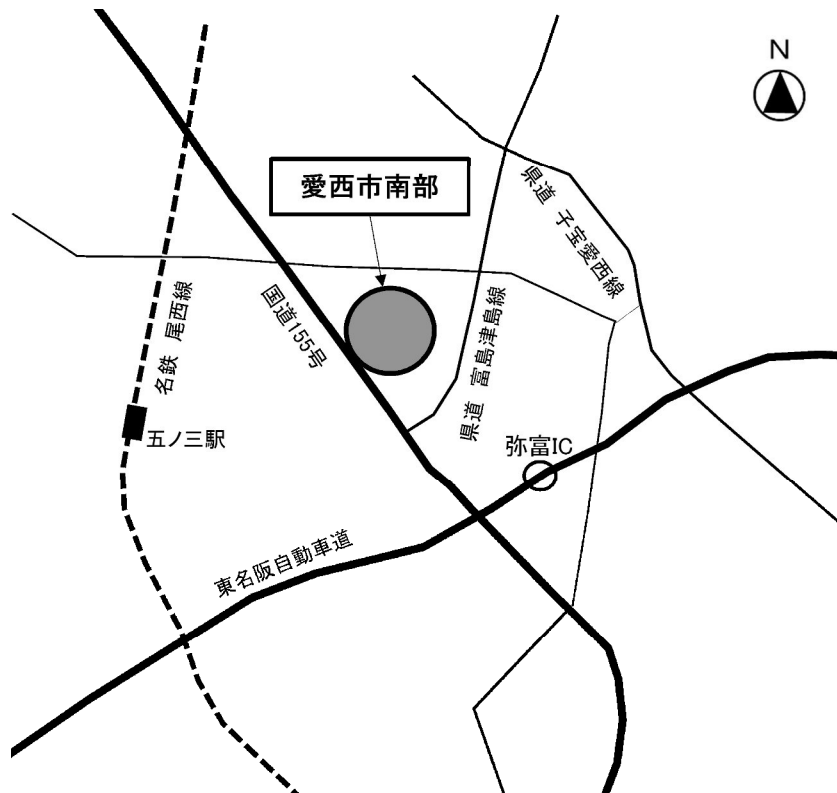
1 所在地（＜位置図＞参照）

東名阪自動車道^{やとみ}弥富ICから国道155号等を経由し約800m

2 開発予定面積

約13ha

＜位置図＞



半田市北部

1 所在地（＜位置図＞参照）

知多半島道路^{あぐい}阿久比ICから県道西尾知多線等を経由し約5km

2 開発予定面積

約16ha

＜位置図＞



安城市北部

1 所在地 (<位置図>参照)

衣浦豊田道路^{うしだ}牛田 I C から国道 1 号等を経由し約 9 k m

2 開発予定面積

約 1 5 h a

<位置図>

